

笑顔あふれるまち 飯南町

IINAN

い-なん

2025

2

No.242



YOHAKU ARIMASU
IINANCHO

あります 飯南町

特集 安心して買い物ができるように ～このまちでの買い物事情～



飯南町らしい冬の遊びでにっこり (ゆきんこまつり)

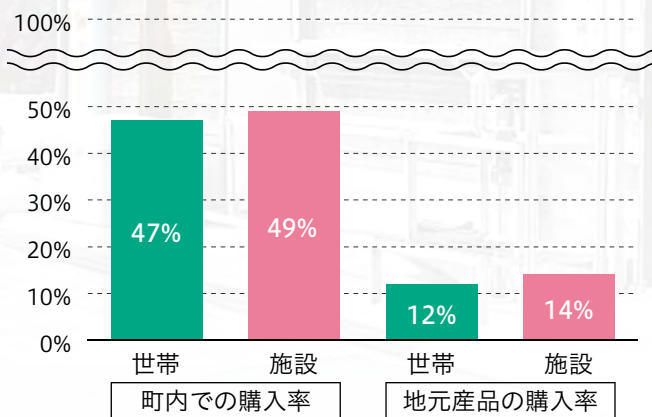
安心して買い物ができるように

昨年、島根県が実施した町民の皆さんの買い物に関する調査。
この調査から見てきたこと、これからのこのまちでの買い物を
考えてみます。



食料品の町内購入率と地元産品の購入率

※金額ベース



次のページでは、調査の結果分析や、そこから見えてくるこれらの買い物事情を中山間地域研究センターの有田研究企画監に伺いました。

町民の皆さんにとっても町外や県外の方にとっても重要な買い物場所となっているのではないのでしょうか。

従業員のの方に話を聞くと「平日は町内のお客様が多く、休日は町外からのお客様が多い印象です。全体的には、町内のお客様が6割くらいの印象です。冬の時期は商品が少なくはなりますが、地元の美味しい野菜などが並ぶ時期には、全体的にお客様が増える傾向です」と話されます。

地元産品を購入できる場所、特に野菜などを購入する場所といえば町内2カ所に「産直市」があります。「ぼたんの郷（赤名）」「ぶなの里（頓原）」の両産直市は、地元生産者の野菜や米などの農産物、農産加工品等を販売しており、町民の皆さんだけでなく、町外や県外の方も多く訪れます。

皆さんは食料品などの多くを町内で購入していることが分かります。また、地元産品の購入割合は12パーセントとなっています。

地元産品を購入できる場所、特に

昨年、島根県が町内の全世帯や事業所を対象とした「飯南町地域経済循環調査」を実施しました。地域の事業者や世帯の商品の購入状況を把握し、地域経済の活性化のための取組を検討するための基礎資料とすることを目的にしています。

調査結果のグラフ（3ページ）を見てみると、スーパーやコンビニ、個人商店など、町民の皆さんの町内での購入割合は47パーセント。町民の

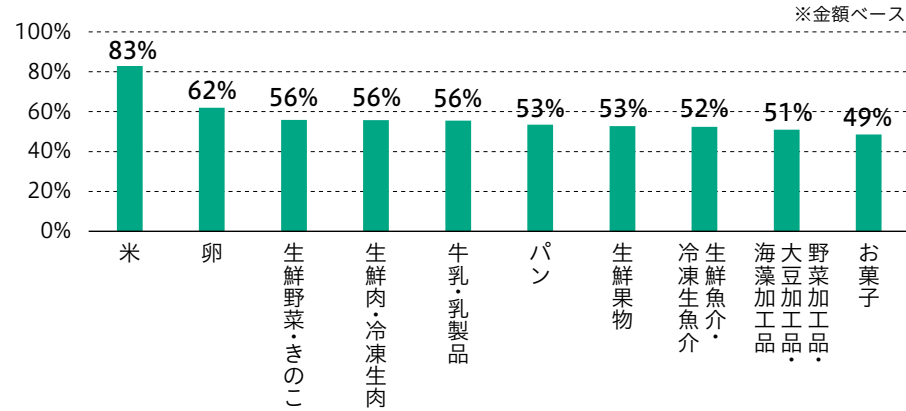
本町のような中山間地域の雇用や活力を維持していくためには、町外からの観光客などを呼び込むことに合わせ、町民の皆さんの町内での消費を増やすことも重要。「電子地域通貨いーにゃんPAY」も町内での消費促進策の一つ。ポイントの付与もあり、町内消費につながっています。

普段の食料品やガソリンなどの燃料費。皆さんはどこで購入されていますか。町内だけでなく、町外やインターネットを通して購入する人も多いのではないのでしょうか。

普段、何気なく買い物をする際に「まちの経済」や「これからの自分たちの買い物」への影響を意識することはあまりないかもしれません。

普段の買い物

品目別にみた住民の町内での食料品購入率(上位10位)



「飯南町地域経済循環調査」から 見えてくること

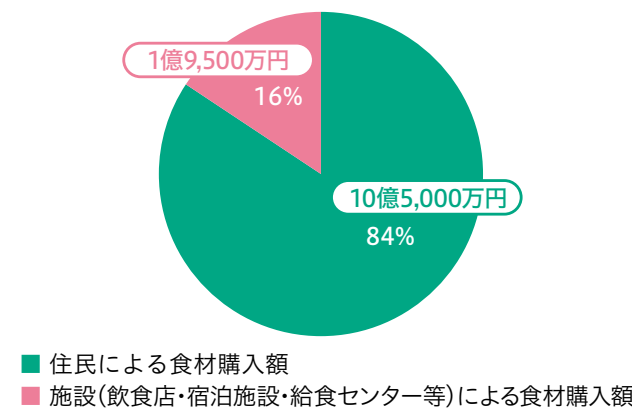
調査分析を担当
島根県中山間地域研究センター 研究企画監
有田 昭一郎 さん



01 住民の町内店での 食材の購入状況

住民の町内店での食材の購入割合は47パーセント。飲食店・宿泊施設・給食センターなど主だった施設(以下・施設の町内店での購入割合は49パーセントで、特に米や野菜・肉・魚などが高いです。インターネットや通販が充実している今日でも、生鮮品を扱うスーパー、産直市やスーパー内の直売コーナー(以下・直売所)などの身近な買い物場所は、住民の暮らしや施設などの営業を支える不可欠な存在です。

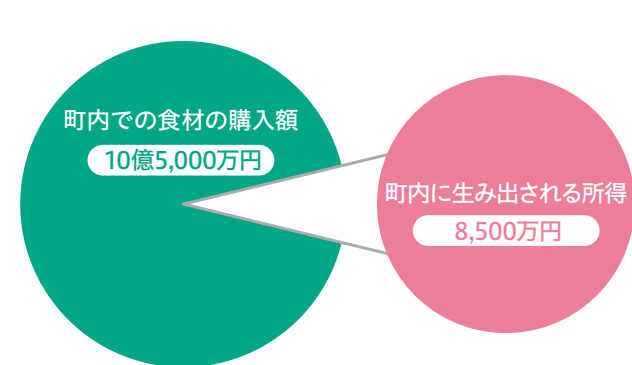
町内での食材購入額(住民および施設)



02 住民の町内店での食材購入額と 買い物場所を支えていくこと

令和5年度一年間の住民による町内での食材の購入額は約10億5,000万円。施設による購入の約5倍の規模があり、住民の購入は町内の買い物場所を支える大きな柱です。町内のスーパーや直売所の利用度は、若い年代より高齢者が多く、高齢になるほど、より身近な買い物場所を利用する傾向が強くなると考えられます。従って、住民が年をとっても安心して暮らすためには、身近な買い物場所をみんなで支え

住民の町内での食材購入額と生み出される所得



冬でも多くの商品が並びます(ぶなの里)

ていくことが必要です。調査では、移動販売や注文・配達販売の充実を望む声も多く、購入者の高齢化に対応して移動販売や配達手段を更に充実させていくことも重要だと考えます。

03 直売所の地域経済への 貢献と住民が求めること

住民の町内での食材の購入により、約8,500万円の所得が生み出されており、特に直売所での野菜や加工品の販売から生じる所得が約半分を占め、大きく貢献しています。

飯南町の直売所は、観光分野の目玉ともなっていますが、住民の生鮮品や加工品の買い物場所でもあり、現在、約3割の世帯が週1回以上、地元を生鮮野菜や加工品等を購入しています。

また、約5割の世帯は、買い物時間や身近な所での販売など条件があれば利用を増やしたいと考えており、地元産品へのニーズは高いです。

04 今後の買い物対策が 効果を上げるために 必要なこと

今後の買い物対策でまず必要なのは、身近な生鮮品の購入場所の確保です。身近な購入場所は、住民の食生活に加え、施設の食材調達も

支えています。また消費者の確保には町内向け、町外向けの2つの対策が必要です。町内向けには高齢化など利用者の変化に対応した買い物環境づくり、特に移動販売や配達など購入手段の充実が重要です。他方、高い経済効果のある直売所や生産者の売上確保に向けては、官民協力して町外から顧客を呼び込むことも必要です。

地元産の食材を住民が購入することで地元にお金が回りますが、さらに観光客からの売上が加われば、お店の品揃えが充実し、ひいては住民の買い物選択も充実します。最後に、若い人も年をとります。そのときに身近に買い物場所があるよう意識しての買い支えもとても重要です。

以上のことから、高齢化にも対応したきめ細やかな販売体制づくり、町外からの直売所への顧客の呼び込み、住民の意識した買い支えが、将来の飯南町民の買い物場所を確保し、経済効果をもたらすために重要であると考えます。

調査の詳細はお問い合わせください。

■問合せ
中山間地域研究センター地域研究科
TEL 76-3833

これからまちのために

それぞれの世帯や事業所で町内消費に差があるのは当然。世代や家族構成、規模や経営状況など理由もさまざまです。それでも本町で全く買えない物はない人や事業所はほとんどないと思います。このまちで買えない物がなくなると困るのは同じです。

また、買える物ができる場所があるということは、そこに雇用があるということ。それも守っていかねばなりません。

有田さんの分析にもあるように、今後は官民が連携し、消費促進や顧客の呼び込みを進めていくことが必要。町としても、今回のこの調査結果を参考に、商工会等とも連携し、地域内での消費促進や、買える物ができる事業所を確保していくためにできることを検討していきます。

普段は意識していませんが、住んでいるまちで、必要な時に買える物ができることは幸せなこと。皆さん一人一人が少し意識することで、これからもこのまちで買える物ができるのではないのでしょうか。

**大人から子どもまで本気の雪合戦
雪合戦大会にボアーズが出場**

広島県庄原市の高野スポーツ広場で開催された「第28回県雪合戦大会」に飯南町の少年野球チームワイルドボアーズの選手が出場しました。

本町と庄原市は自治体間交流に関する連携協定を締結していることから、交流の一環としてこの度の出場となりました。大会には51チームが出場。ワイルドボアーズはジュニア部門で勝利を目指しました。

出場したボアーズの選手からは「勝てなかったけど、楽しかったです」との声が聞かれました。



少年野球で培ったコントロールで相手を狙います

2.2
日

**英語と料理にチャレンジ
英語とcooking**

来島交流センターで、来島公民館主催の「英語でcooking」が開催されました。

今回の企画は、ALT(外国語指導助手)のランデンさんとダニエルさんが講師。8人の参加者は、2人の母国アメリカの定番料理のハンバーガーやアップルパイを作りました。料理中は英語で会話がルール。参加者は頑張って英語を話していました。

参加した小学生は「英語も料理も難しかったけど、楽しかったし料理もおいしかったです」と話していました。



作り方も英語で質問。難しい時は日本語で

2.1
土

**地域の安全・安心を守る
飯南町消防出初式**

赤名地区で「令和7年消防出初式」が挙行され、151人の消防団員が出動しました。

屋外行事では、町長への出動人員を報告し、通常点検を実施。その後、赤名地区住民の声援を受けながら、赤名連坦地を力強く行進しました。

赤名農村環境改善センターで行われた式典では、団長訓示、各種表彰等が行われ、最後には出席者全員で今後の飯南町や消防団の発展を祈念し、万歳三唱を行いました。



本部を先頭に、分団ごとに隊列を組み行進

1.12
日

**無病息災を願って
民俗行事とろへい**

頼原の張戸地区で民俗行事「とろへい」が行われました。

今回は、本町と友好交流都市協定を結ぶ長崎県大村市から19人が参加。頼原地区の参加者9人とともに、大きな声で「とろへい、とろへい」と言いながら、手作りのわら馬を家々に届けました。お供え物を持っていくとする子どもたちは、住人から水をかけられると歓声をあげました。

参加した大村市の小学生は「初めての体験で、水にぬれたけど楽しかったです」と笑顔で話していました。



水をかけられないように走って逃げる子どもも

1.11
土

- 令和6年度 家族で作る人権標語 優秀作品**
- ばくもなれるよ おたすけまん
●金賞 渡邊 悠菜 頼原小1年生/家族名 智昭
- 「それいいね」 みとめ合う声 重ねよう
●金賞 岡田 颯士 来島小5年生/家族名 絢子
- あいさつで げんきのたねを まきたいな
●銀賞 吉田 花 頼原小2年生/家族名 育枝
- みとめ合い あなたらしさに いいねボタン
●銀賞 日高 愛夢 頼原小5年生/家族名 純也・遥
- "ありがとう" どの言葉よりも すてきだな
●銀賞 福留 蛭 志々小5年生・柚 3年生・蓮 1年生/家族名 勇貴・美帆
- フレンドの 小さなサイン 見逃すな
●銀賞 石原 理子 赤名小6年生/家族名 朋美
- ゆっくりと きかせてほしい きみのこえ
●銅賞 藤原 唯人 頼原小2年生/家族名 咲人
- うれしいな きみにいいたい ありがとう
●銅賞 森 智陽 頼原小4年生/家族名 理恵
- ごみひろい みんながつくろう きれいなまち
●銅賞 中川 梓 志々小1年生/家族名 茂芳・祐紀子
- 差別なし 平和に創る 未来地図
●銅賞 倉橋 依未 赤名小6年生/家族名 直之
- 話し合い 違いを認め 多様性
●銅賞 橘高 隼 赤名小6年生/家族名 純子
- 「だいじょうぶ?」「どうしたの?」言える人になりたいな
●銅賞 安部 陽南 来島小2年生/家族名 朝陽・亜裕子

**人権について考えるきっかけに
家族で作る人権標語**

飯南町人権・同和教育推進協議会では、住民の人権意識の高揚を図るための教育・啓発活動の一環で、小学生とその家族を対象に「家族でつくる人権標語」を毎年募集しています。

今年度は108点の応募があり、1月24日に審査会が開催されました。

審査会では、特に優秀とされた12点を決定。今後、この12点を本広報誌に毎月1点ずつ掲載予定です。



頼原小1年生 渡邊悠菜さん



来島小5年生 岡田颯士さん

**魅力ある地域づくりに向けて
小田真木自治振興協議会が知事表彰**

小田真木自治振興協議会が「しまね流福祉のまちづくり活動団体」を受賞し、島根県知事から表彰されました。

同会は、サロン、防災研修会、地域交流やイベントなどを通して、地域の魅力やつながりがづくりを行っています。これらの活動が評価され、地域福祉活動「自治会区福祉活動」に取り組み団体としての受賞となりました。

安部和昭会長は「この度の受賞を励みに、さらに前進したいと思います」と話していました。



県庁での表彰式に出席した安部会長(写真右)と同会の平石さん(写真左)

1.27
月

**これまでのあゆみを振り返る
谷自治振興会設立20周年記念式**

谷笑楽校で、谷自治振興会発足20周年の記念式典が行われました。

同会は、飯南町合併後いち早く設立され、他地区の先進事例として取組を進めてきました。式典では、永田一博会長が「あつという間の20年間だった。盛大にこの会を開けることをうれしく思います」と挨拶。この20年を振り返る映像が上映されると、これまでの取組や映し出された記録写真を懐かしむ参加者の様子が見られました。

最後に、赤名相撲甚句会による「相撲甚句」が披露され、今後の谷地区の発展と繁栄を祈念しました。



皆さんの大きな笑顔で式典は幕を閉じました

1.19
日

ビジネスプラン 優秀賞決定

1月30日(木)

町内での起業、第2創業を応援する「ビジネスプランコンテスト」で優秀賞を選出し、目録を授与しました。

●優秀賞
クロモジの商品開発、販売を通じて、飯南町のクロモジをブランド化

●提案者
まる(代表 前田由香里)

本プランは、飯南町産のクロモジや間伐材を活用した商品を開発・販売し、クロモジをブランド化。新たな仕事を創出し、地域活性化を図ることが目的。本町の資源を活用したビジネスモデルとして評価されました。



受賞されたまるの寺田さん(右)、前田さん(中央右)、土池さん(左)

若手職員研修会に 参加

1月27日(月)

赤名公民館主催の「飯南町若手職員研修会」に町職員14人が参加しました。

どのように地域住民と向き合うかを考え、業務に対するやりがいや自己有用感を高めることが目的。静岡県浜松市職員の野嶋京登さんをオンラインで講師に迎え、モチベーション向上に向けての心構えなどの話を聞きました。その後、「今日からできるアクション」を一人一人が考え、職員同士で話し合いました。

今後も、職員研修を実施し、モチベーション向上やスキルアップを図ります。



若手職員や公民館職員が参加

飯南町スキー大会を開催

1月25日(土)

第19回飯南町スキー大会を、琴引フォレストパークスキー場で開催。28人の選手が出場し、優勝を競いました。表彰式では、国民スポーツ大会に出場する選手を紹介。激励金が贈られました。

各部門の優勝者は次のとおりです。(敬称略)

- 保育所児童の部
梶川 来望(さつき保)
- 小学校1・2年男子の部
深石 直暉(頓原小)
- 小学校3・4年女子の部
梶川 紬葵(頓原小)
- 小学校3・4年男子の部
福岡 慶士(頓原小)
- 小学校5・6年女子の部
石原 理子(赤名小)
- 小学校5・6年男子の部
水谷 太陽(赤名小)
- 中学校全学年男子の部
奥野 颯(赤来中)
- 高校全学年男子の部
和久利 晃生(飯南高)



練習の成果を発揮し、ベストタイムを目指しました



各部門3位までの入賞者を表彰。賞状と賞品が贈られました

町長初登庁・就任あいさつ

1月23日(木)

無投票再選を果たした塚原隆昭町長が初登庁。今後の町政について、次のとおり述べました。

今年、飯南町が誕生して20年目の節目の年。まちづくりの基本理念は合併時から変わることなく、「小さな田舎からの生命地域宣言」を掲げ、将来も笑顔あふれるまちでありたいという思いを共有し、まちづくりを進めてきました。

この度、次の10年に向かってまちづくりの指針「第3次総合振興計画」を策定するにあたり、住民アンケートの結果で、このまちに住むことを幸せに感じる割合は70%で、目標の80%には届いていませんでした。次の4年間でこの目標が達成できるよう、直面する課題への対応と、将来を見据えた取組を全力で行います。

1期目から掲げている5つの公約は第3次総合振興計画における重点政策として選択しており、この実現に向けては、財政の健全化は必須、規模縮小も考慮して進めます。



職員が拍手で出迎えました



これからの町政運営について話す塚原町長

- ①「子どもたちの声が聞こえるまちづくり(少子化対策)」
- ②「安心安全なまちづくり」
- ③「誇れる産業を継続できるまちづくり」
- ④「定住を進めるまちづくり」
- ⑤「歴史・文化を感じるまちづくり」

第3次総合振興計画に掲げる将来像「笑顔と誇りを未来につなぐまち飯南」の実現に向けて、職員と一丸となり、取り組んでいきます。

教育委員会委員を 任命

2月7日(金)

教育委員会委員に、源知香子さん(赤名)を任命しました。任期は、令和7年2月11日から4年間です。構成は次のとおりです。

氏名(任期満了年月日)
小野田知子さん(令和8年2月10日)
熊谷高暢さん(令和9年2月10日)
島田勝信さん(令和10年2月10日)
源知香子さん(令和11年2月10日)

選挙管理委員を 任命

2月7日(金)

選挙管理委員に、次の4人を任命しました。任期は、令和7年2月10日から4年間です。構成は次のとおりです。

氏名(在任歴)
大谷善啓さん(3期12年)
田邊彰子さん(4期16年)
朝津久美子さん(1期4年)
熊谷利夫さん(新任)

農林業振興計画への 意見を募集

本町の農林業の取組等を定めた「飯南町農林業振興計画」の策定に向け、関係者と協議を進めています。

本計画は、令和7年度からの5年を期間とし、水田農業、特産、畜産、林業の現状や課題、今後の取組を定めるもの。この度、素案を作成しました。

今後は広く町民の皆さんからの意見を募集し、完成に向けて進めていきます。町ホームページや役場本庁舎支所で閲覧できますので、ご意見をお寄せください。

●パブリックコメント期間
3月6日(木)まで



町ホームページ

健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

飯南病院 便り



飯南町立飯南病院
院長
すみた こうき
角田 耕紀

飯南町立飯南病院開設50周年記念式典を通じて

令和6年12月7日、飯南町立飯南病院開設50周年記念式典が開催され、多数の関係者の皆様とともに飯南町の医療の歴史を振り返る貴重な機会となりました。

旧頓原町では昭和35年に頓原町母子健康センターが開設され、これに併設される形で翌年に頓原診療所が開設されました。飯南病院の起源は、昭和49年頓原診療所から頓原病院となった時代にさかのぼります。

それから50年。平成12年には現在の場所に頓原病院が移転新築され、平成17年に赤来町、頓原町の合併により飯南町が誕生したことにより飯南町立飯南病院となりました。

ここに至る歴史を振り返るとき、時代背景や社会構造の変化と共に、保健・医療・介護・福祉分野ではさまざまな課題、難題、困難が多くあったことと思います。今、町立病院として存在し続け、住民生活の支えであり

続けていることは、決して当たり前ではなく、町民の皆様のご理解、ご協力、各時代時代の諸先輩方、関係者の皆様のご尽力のおかげでありますことに、あらためて感謝申し上げますとともに敬意を表します。

実は、病院が誕生した昭和49年は、私が生まれた年でもあり、病院も50年、私も50歳ということに、何かの深い縁を感じているところです。院長の職を拝命し、この50年にわたる病院の歴史の中の一部ではありますが、関わることができ、さまざまな経験や出会いを通じて、医師として、また人としても成長する機会を与えていただいていることに感謝しています。

人がその地域で生き、生活を営んでいくうえで、また地域が持続可能であるためには、保健・医療・介護・福祉の連携・統合を基礎とした地域包括医療・ケアシステムを整備し続けていくことは不可欠な要素であり、まちづくりの根幹を支える基盤であると思います。これからも、飯南町のニーズに合った医療体制を、皆さんと一緒に作り発展させていけるよう努力していきたいと思っています。

楽しいっばい 図書館探検

飯南町立図書館

●中央図書館 76-2160
●頓原図書館 72-0301



当館の「新着本案内」が飯南町のホームページで見られます。新着本が入り次第、随時更新します。

今後のイベント情報

●Sunday Story Time「英語でおはなし会」

ALTのダニエル先生&ランデン先生と一緒に英語を楽しみましょう。

日本と外国の文化の違いや簡単な英単語も学べ、どなたでも楽しみながら英語に触れることができます。ぜひ親子でご参加ください。

日時 3月16日(日)10時30分～

●「一般向け雑誌リユース」

保存期間が過ぎた一般向けの雑誌を差し上げます。

※当館では、雑誌の保存期間を2年間としています。

期間 3月1日(土)～なくなり次第終了

場所 中央図書館

貸出ランキング

(小説部門)

昨年、館内で展示コーナーを作り、ご好評いただいた2023年11月～2024年9月までの年間貸出ランキングを紹介します。

- 第1位 「成瀬は天下を取りにいく」
宮島未奈 (新潮社)
- 第2位 「続 窓ぎわのトットちゃん」
黒柳徹子 (講談社)
- 第3位 「図書館のお夜食」
原田ひ香 (ポプラ社)
- 第4位 「リカバリー・カバヒコ」
青山美智子 (光文社)
- 第5位 「あなたが誰かを殺した」
東野圭吾 (講談社)

※貸出し中の場合は予約もできます。



脱炭素チャレンジインフォメーション

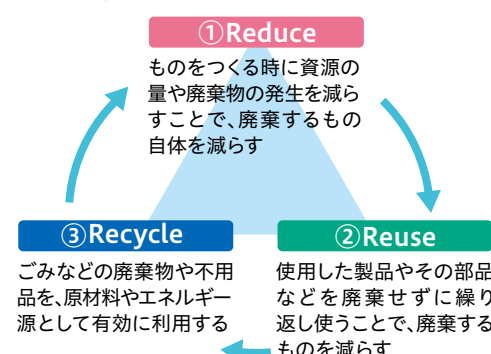
vol.4

本町は、令和5年3月に脱炭素のまち宣言を行いました。町民の皆さんにも取り組んでいただけるよう、定期的に情報をお届けします。

3Rについて考えてみよう!

3Rとは、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の頭文字を取った3つの環境に配慮した行動の総称です。3Rには優先順位があり、リデュース⇒リユース⇒リサイクルの順に実践していきます。

ごみを出す前に、まずは3Rに取り組むことで、少しでもごみ・CO₂(二酸化炭素)削減を目指しましょう。



今日からできることを始めよう!

●食品ロスをなくす

- ・買い物前に家にあるものを確認し、必要なものだけを買う
- ・食べきれない量の料理を作る
- ・飲み会や懇親会等での食べ残しを減らすため、自席で食事する時間を設ける

【CO₂削減効果】

家庭と外食の食品ロスがゼロになった場合⇒年間で1人あたり54kg削減

●マイバッグ・マイボトルの利用

- ・買い物時はマイバッグを持参し、レジ袋の利用を断る
- ・外出時にはマイボトルで飲料を持参する

【CO₂削減効果】

マイバッグを利用した場合 ⇒ 年間で1人あたり1kg削減

マイボトルを利用した場合 ⇒ 年間で1人あたり4kg削減

●リサイクルの徹底

- ・資源ごみ(ビン・カン、古紙)の分別を徹底する



笑顔あふれる飯南暮らし

「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

第10回 10年後、どんな地域に暮らしたい?

5月号より「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域の取組や地域おこし協力隊の活動を紹介してきました。自分の暮らす地域のあり方を考えたり、この町の魅力を考えたりするきっかけとなったのではないのでしょうか。

これまで紹介したテーマ

- [6月号] 自主防災組織とまちあるき
- [7月号] 「楽しさ」で周囲を巻き込む
- [8月号] ボランティアによる声かけ訪問
- [9月号] 飯南の食の魅力
- [10月号] 誰もが集える交流の場づくり
- [11月号] 高齢者サロンの運営
- [12月号] 地域の一体感を生む工夫
- [1月号] 立場や年代を超えた取組

各号のレポートから、地域づくりを進めるポイントが見えてきました。「地域づくり」は、困りごとや地域課題を解決するだけでなく、住民が安心して、生き生きと生活できる環境づくりです。楽しいことや、関心のあることをきっかけに、住民が顔を合わせ、話ができる関係性を築くことが大切です。



志々地区の声かけ訪問隊の皆さん(8月号より)

レポートから見えてきた

ここがポイント

- 地域で安心して暮らし続けるには、住民同士の支え合いが大切
- 「楽しさ」「興味のあること」でつながり、住民交流を深める
- 子どもからお年寄りまで、多様な年代が関わり、活躍する場をつくるのが大切



求 人 情 報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 ☎76-2864
(役場まちづくり推進課内) ※表示のない市外局番は「0854」です

(福)友愛会 72-0214	
看護職員(正社員) 看護師か准看護師 ◎月243,900～263,900円	フル 2人
介護職員(正社員) 未経験者歓迎・介護福祉士有資格者・経験者優遇 ◎月189,400～252,800円	フル 3人
介護職員 未経験者歓迎・介護福祉士有資格者・経験者優遇 ◎時970～1,160円	パート 3人
調理員 ◎月177,400～197,200円	フル 2人
シーツ交換 ◎時970円	パート 1人

ふくま歯科医院 72-1500	
歯科衛生士(正社員) 歯科衛生士 ◎月190,000～220,000円	フル 1人

(株)いいなん 72-1080	
バイオマス製造機の製造、農作物栽培作業 普通自動車運転免許(AT限定不可) ◎時970円	パート 1人
バイオマス製造機の製造、農作物栽培作業(正社員) 普通自動車運転免許(AT限定不可) ◎月143,792～167,200円	フル 1人

(株)一福 72-0006	
ホール業務全般 特になし ◎時平日1,020円・土日祝 1,070円	パート 2人

(株)後藤建設 72-0103	
現場技術員(正社員) 建設機械運転経験者 ◎月212,000～252,000円	フル 1人
建築施工管理技術者(正社員) 1・2級建築施工管理技士 ◎月252,000～302,000円	フル 1人
土木施工管理技術者(正社員) 1・2級土木施工管理技士 ◎月252,000～302,000円	フル 1人

飯石森林組合 62-1520	
舞茸生産補助員 普通自動車運転免許(AT限定可) ◎時980～1,100円(月156,800～176,000円)	パート 1人

(有)頓原ランドリー 72-0036	
衣類クリーニングの仕上げ・受付 普通自動車運転免許 ◎時980円	パート 1人

日本郵便(株)来島・頓原郵便局 76-2300	
郵便業務(郵便物の集配)(正社員登用制度あり) 原付か自動二輪か普通自動車運転免許 ◎時1,070円～	パート 1人
窓口業務(正社員登用制度あり) ◎時990円～	パート 1人

JA全農Aコープ(株)Aコープエルシー店 72-1221	
商品づくりまたは補充・レジ等 ◎時962円	パート 2人

JA全農Aコープ(株)Aコープきじま店 76-2319	
店舗業務 (青果・鮮魚・食品等の商品づくり・品出し・レジ等) ◎時962円	パート 2人

JA全農Aコープ(株)Aコープあかな店 76-2319	
店舗業務 (青果・鮮魚・食品等の商品づくり・品出し・レジ等) ◎時962円	パート 1人

株式会社ボウストフル・ファーマー ミセスロピンフッド 76-9277	
ホール係、調理補助 ◎時1,000円～	パート 1人

飯南町地域づくり協同組合 72-0097	
農業・製造業・サービス業等 普通運転免許(AT限定可) ◎月166,000～220,000円	フル 2人

放課後子ども教室(教育委員会) 76-3944	
放課後、保護者のお迎えを待つ児童の見守り (宿題等を教える必要はありません) 最初1～3日間程度は、就労体験(賃金あり)が可能 ◎時968円	パート 1人

地域おこし協力隊(飯南町観光協会) 76-2214	
(一社)飯南町観光協会での事業の運営・展開・企画立案など(担当:産業振興課) 20代～30代で、3大都市圏と都市地域等から飯南町に住民票を異動することができる人	フル 1人

地域おこし協力隊員(飯南高校) 76-2864	
飯南高校魅力化コーディネーターとして、特色ある教育の推進、生募集活動など (担当:まちづくり推進課) 20歳以上で、3大都市圏と都市地域等から飯南町に住民票を異動することができる人	フル 1人



住民税非課税世帯を対象とした給付金を支給

●対象世帯

令和6年12月13日現在で、本町に住民登録があり、世帯全員の令和6年度住民税均等割が非課税である世帯

●支給額

- ①1世帯当たり3万円
- ②対象世帯のうち、18歳以下の児童平成18年4月2日以降生まれを扶養している世帯に対し、児童1人当たり2万円を加算

●手続き

(A)令和5年又は6年中に非課税世帯等への給付金を受給している世帯には2月末から順次「支給のお知らせ」を送付します。

手続きは原則不要ですが、支給要件及び振込先口座を確認してください。

(B)転入者や世帯主以外への振込など、口座確認が必要となる場合は、「支給要件確認書」を送付します。必要事項を記入し、返送かオンラインで手続きしてください。

※令和6年12月14日以降に生まれた新生児を含む世帯、生計を同一にしている別世帯の児童がいる場合は、ご連絡ください。

●申請期限 令和7年7月31日
●これまでもとの変更点
給付金の業務を(一社)岡山中央

総合情報公社へ委託しています。

各種ご案内の差出人や確認書の返送先が「一般社団法人岡山中央総合情報公社給付金事務局」となっていますので、ご注意ください。

問合せ

福祉事務所 ☎72・1773
※事務局のコールセンターへも問い合わせが可能。連絡先は対象世帯に送付する各種ご案内に記載。



「支給のお知らせ」はがき(見本)



「支給要件確認書」の封筒(見本)

3月は自死対策強化月間

自死対策強化月間は、一人一人が自死についての理解や関心を深め、自分や周りの人の心の健康や命の大切さについて考えるための月間です。

自死は、様々な悩みにより心理的に「追い込まれた末の死」であり、誰にでも起こり得ることです。

悩みを抱えている方は一人で抱え込まずに、まずは誰かに相談してみしましょう。

身近な方の悩みに気づいたら、温かく寄り添いながら、悩みに耳を傾け、専門家への相談をすすめ、優しく見守りましょう。

【島根いのちの電話】

☎0852・267575

平日 9時～22時
土曜 9時～24時
日曜 0時～22時
(年中無休)

問合せ

保健福祉課 ☎72・1770
雲南保健所 ☎42・9642



島根いのちの電話

スポーツ安全保険

スポーツ安全保険は、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、レクリエーション活動などの団体活動における事故を補償する制度です。

スポーツ少年団、草野球チーム、オーケストラ、地域美化活動団体、学童保育など多くの団体が採用しています。

●対象 スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・地域活動などを行う4人以上の団体・グループと個人

●保険期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日年度中途に加入した場合は、加入手続日の翌日から

※保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

問合せ

(公財)スポーツ安全協会
☎03・5510・0033



スポーツ安全協会ホームページ

森林セラピー通信

森のたより

(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

スノーシューガイドの準備



一面、白銀に覆われた飯南町ふるさとの森。森林セラピーガイドは早速スノーシューガイドの練習を始めます。当日は、雪質が「表面カリカリ、中フワフワ」のスノーシュー日和で、履き方や歩き方を確かめ合ったり、冬の森の注意点を共有したりしながら散策しました。



しみもあります。全国の森林セラピー基地の中でも冬季を含め、いつでも対応できるのが飯南町の森林セラピーの魅力でもあります。アップダウンの少ないセラピーロードの冬景色を楽しんでみませんか？

飯南町短期集中型プログラム
「飯南町まめな塾プラス」説明会



飯南町の森林セラピーは「観光」と「健康」の2本柱で成り立っています。今回は町民の皆さんの健康を目的とした「飯南町まめな塾プラス」の中で森林セラピーを組み込んだプログラムの説明会でした。通常対応する「観光」のお客さまと違い、内容も参加者の体力レベルにより合わせた内容を求められます。森の持つ癒しの力を町民の皆さんの健康増進につなげていきます。

こんにちは
中山間地域研究センターです。

スギ大径材の利用促進に向けた
共同研究

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



島根県内の人工林は、高齢化が進んでおり、例えば、スギ人工林の8割以上の面積が木材として利用できる樹齢を超えています。これに伴い丸太の直径が大きくなる大径化が進んでいます。しかし、ここから得られる大径材は製材用としての利用が広がっていません。これは他県でも同様で全国的な課題となっています。

農林水産省では、この大径材から国産材製品を安定供給する加工・利用システムを開発するため、委託プロジェクト研究「大径材の活用による国産材製品の安定供給システムの開発」を令和5年度から行っています。国立研究開発法人森林研究・整備機構が研究代表機関となり、当センターも含め大学と民間企業、公設研究機関の計10団体が参加しています。当センターは、スギ

の大径材から製材する、丸太の中心を含まない心去り平角を対象に、県内で普及している蒸気式木材乾燥機を用いて、短期間で、かつ、内部割れの発生を抑えて強度性能を確保する最適な乾燥技術を開発するため、種々の実験を行っています。

得られた成果は、県内の製材所等に普及して技術の導入を進め、大径材を製材用として活用できる方法を整えます。これにより、県産材の需要を拡大し、県内の林業・林産業の振興に貢献します。

問合せ 農林技術部木材利用科 ☎76-3825



飯南町産スギ大径材の製材



スギ心去り平角試験体の乾燥試験

短歌

赤名短歌会 一月例会詠草



雪もなく初日を拝む清々し平穏な年の予感に笑みて 門所 詠子
粉雪の舞ひちるころよ日もさすが早く梅咲けただ待つのみか 清原 豊明
いつか見しドラマのような路線バスゆつくりゆつくりわが前をゆく 澤田久美子
本勝手妻は清清池坊添えは南天ねじめスイセン 澤田 勝登
賀状にて雪大丈夫と四十年余案じてくれし短大の友 星野 敦子
安眠を乱し続けし家ネズミつひに捕獲す！ 憎しあつぱれ 烏田 勝信
新しき年の初めの庭に佇ち四方拝する私の柏手 本間 麗子
はつみ空すがしき光身に受けて大いなる途へ踏み出す朝 吉川 暎子
貼り替えし障子に陽光ゆらめきてコーヒー香る朝のひととき 石田フクエ

やすうかに

1月届出分

お名前	親族	地区
和田 勝祥 様 (82)	一 郎	赤 名
吾郷 熙臣 様 (96)	浩 彦	角 井
中山 茂樹 様 (77)	直 樹	下 赤 名
大谷 秀子 様 (100)	逸 雄	花 栗
金子 節恵 様 (96)	幸 範	上 赤 名
舩田 久美恵 様 (75)	幸 伸	小 田
田部 邦彦 様 (65)	奥野秀延	(獅子)
小原 佳夫 様 (91)	彰	(敷 波)
宇山 道雄 様 (92)	智 明	上 区



「ゆきんこまつり」 赤名農村環境改善センターと役場職員駐車場で、赤名地域まちづくり連絡会主催の「ゆきんこまつり」が開催されました。町内外から約80人が参加し、キヤンドル作りや射的、そり遊び、雪山スプレーなどを楽しみ、笑顔があふれました。



令和5年度
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

そだてよう
やさしさのたね
えがおさく

赤名小学校 2年 小野 あおい さん
家族名 めぐみ さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

2025
3

まちのスケジュール

📖 教育 + 健康・保健 ★ 文化・体育 ◆ その他

1 土	📖 飯南高卒業証書授与式 ◆ フラワーアレンジメント教室(赤名改善センター)
2 日	
3 月	
4 火	
5 水	📖 公立高校一般選抜試験 + ほっと.Café(食講座【離乳食】)(来島保健センター)
6 木	
7 金	
8 土	📖 中学校卒業証書授与式 ◆ 飯南ラボフォーラム(来島交流センター)
9 日	
10 月	◆ 行政相談(保健福祉センター)
11 火	
12 水	+ ほっと.Café(来島保健センター)
13 木	
14 金	
15 土	
16 日	📖 町内中高吹奏楽部合同定期演奏会(みせん) ◆ 英語でおはなし会(中央図書館) ◆ しまね家庭の日
17 月	
18 火	
19 水	📖 小学校卒業証書授与式 + ほっと.Café(ベビーマッサージ)(保健福祉センター)
20 木 春分の日	
21 金	
22 土	
23 日	
24 月	📖 保育所入所式 📖 修了式(小中学校) 📖 飯南高終業式
25 火	
26 水	
27 木	+ 1歳6ヵ月児・3歳児健診(保健福祉センター)
28 金	◆ はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制 ◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限
29 土	
30 日	
31 月	



仕事でも私生活でも多忙な日々を送る藤原さん。休日の楽しみは4年前に始めたゴルフなのだそう。「身体を動かすのが好きで始めました。まだまだスコアは良くないんですけど、もっと上手になりたいですね」と笑顔で話していました

笑顔で顧客に保険商品の提案をする藤原玲音さん(24歳)。昨年4月に転職し、新車販売や各種保険を取り扱う会社で保険の営業職として勤務しています。藤原さんは、専門学校卒業後3年間は建設会社に勤務し、工事現場の現場監督などをしていたそう。「学生の時からものづくりに興味がありました。道路などの構造物が完成すると、携わった結果が形として残るので達成感もありました」と話します。それでも、これから先の人生を考えて転職を決意。決め手は自らの中に芽生えた一つの想いでした。「もっと人の生活に寄り添った仕事がしたい」。転職活動をする中で、現在の会社を知り、希望していた営業職として採用されました。今は、顧客一人一人の顔が分かり、生活に合わせた提案をする業務に充実感を感じています。

営業職となり約10ヵ月。仕事に慣れた私生活では、学生時代に会った方と昨年12月に結婚。守るべき人ができ、大変な仕事にもさらに力が入ります。「まだまだ未熟ですが、家族のため、お客様のために頑張ります」と藤原さん。今後も顧客に寄り添った提案を続けていきます。

「ルーツ いいなん 43」

このまちに住んでいようと、なかろうとは飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介いたします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

人の生活に寄り添うこと



ふじはら れおん
藤原 玲音

上米島出身。赤来中、飯南高卒業後、広島工業大学専門学校に進学し、工事現場の監理等について学ぶ。卒業後、広島市内の建設会社に就職。昨年4月に転職し、現在は営業職として働く

【いいしクリーンセンター】☎72-9217

令和7年3月のごみ収集日は令和6年2月の自治区文書で配布した「令和6年度ごみの収集カレンダー」をご確認ください。

雲南夢ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。



雲南市・飯南町事務組合ホームページ

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	7日(金) 11日(火)
赤名	21日(金) 26日(水)
来島	13日(木) 15日(土)

[クリーン(株)] ☎72-1401(頓原地域)
[クリーン(株)] ☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を必ずお守りください。



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか



マチイロ

町の人口 4,337人(前月比 - 18人) 世帯数1,969戸 R7.2.1 現在